

● 様式 ●

避難所支援活動日誌

● 資料 ●

資料 1 ……手を消毒しよう!!

～水が使えないときには～

資料 2 ……感染症・食中毒予防に手を洗おう!!

資料 3 ……トイレの清掃の方法

資料 4 ……次の症状がある場合はすぐに

スタッフにお知らせください!!

資料 5 ……感染症評価に基づく感染症対策

資料 6 ……咳エチケット

資料 7 ……インフルエンザ、感染性胃腸炎、

そして食中毒に十分な注意を！等

資料 8 ……家屋等の消毒方法・消毒薬の調整方法

資料 9 ……排泄物・おう吐物の処理

資料 10 ……食事のことで御心配がある方へ

資料 11 ……ゴミ集積所の清掃の方法

資料 12 ……ねずみ・衛生害虫等の発生予防

資料 13 ……生活空間の衛生管理

資料 14 ……器具等の消毒方法を確認しましょう!!

資料 15 ……主な食中毒とその予防対策

調査実施者: _____

調査実施日: 平成 年 月 日

調査を行う際には、同じことを何度も聞く等して、避難者を煩わせないように注意すること。

【施設台帳】 ※変更があった場合は、その旨記載すること。

1. 施設概要

避難所	名 称			管理者氏名	
	所 在 地				
	種 別	体育館・講堂・教室・集会場・廊下・ロビー・(その他)			
	収容人数	人(定員 人)			
ライフライン	水 道	使用可・使用不可 (復旧予定日 月 日)			
	電 気	使用可・使用不可 (復旧予定日 月 日)			
	ガ ス	使用可・使用不可 (復旧予定日 月 日)			
飲 料 水	給 水 状 況	水道・給水車・ペットボトル・その他()			
	給 水 設 備	上水(直結・受水槽)・沢水・井戸水・その他()			
	消 毒 設 備	有・無			
ト イ レ	設 置 状 況	常設・仮設			
医 療	救 護 所	有・無 (設置予定日 月 日)			
ゴ ミ 捨 て 場	設 置 状 況	有(開放施設・非開放施設)・無			
換 気 等	空 調 設 備	有(空調施設の機能:暖房・冷房・加湿)・無			
	換 気	可能(自然換気・機械換気)・不可能			
入 浴 施 設	設 置 状 況	有・無			

【チェックリスト】 ※確認する項目は、避難所の状況を勘案し、必要最小限とすること。

2. 環境衛生対策

	初期	復旧期	項 目	現 況	本 編 ペ ー ジ
トイレ	○		① し尿を流すための流し水は確保されているか。	適・不適	初期 p9 復旧期 p22
	○		② トイレtpーパー、生理用品は専用の汚物入れに捨てているか。	適・不適	
	○	○	③ トイレ専用の履物を用意しているか。	適・不適	
	○	○	④ トイレの後に流水式手洗いにより石けんで手洗いをしているか。(流水式手洗いができない場合は、ウェットティッシュや消毒薬を用いて手を拭いているか。)	適・不適	
	○	○	⑤ トイレは常に清潔が保たれているか。	適・不適	
	○	○	⑥ し尿を保管する場合は、生活区域から離れた場所で、密閉した状態で保管しているか。	適・不適	
		○	⑦ 必要なトイレ用品が確保されているか。	適・不適	

	初期	復旧期	項目	現況	本編ページ	
飲料水	○		① 給水設備の被害状況の確認をしているか。	適・不適	初期 p12 復旧期 p24	
	○		② 近隣の給水拠点の確認をしているか。	適・不適		
	○	○	③ 適切な場所に保管し、汲み置きの水の容器に必要な表示があるか。	適・不適		
	○		④ 井戸水、湧水及びプールの水の状況を把握しているか。	適・不適		
		○	⑤ 遊離残留塩素濃度の確認等、給水設備の管理を適切に行っているか。	適・不適		
		○	⑥ 生活用水の確保が必要な場合に、井戸水等を活用しているか。	適・不適		
ゴミ	○	○	① ゴミ集積所は、生活区域から離れた被災者が捨てやすい場所に設置されているか。	適・不適	初期 p15 復旧期 p27	
	○	○	② ゴミは種類ごとに決められた方法で捨てているか。	適・不適		
	○		③ ゴミ集積所の清掃を定期的に行う等、管理・運営をルール化しているか。	適・不適		
衛生害虫等		○	① 衛生害虫等の生息状況を確認しているか。	適・不適	復旧期 p29	
		○	② 衛生害虫等の発生場所周辺を定期的に清掃し、食べ物等の残りを衛生的に管理しているか。	適・不適		
		○	③ 衛生害虫等の侵入を防ぐため、出入り口や窓に網戸を設置しているか。	適・不適		
		○	④ 衛生害虫等の発生時には、被災者の健康に十分配慮した上で、防除対策を行っているか。	適・不適		
生活場所		○	暑さ対策	① 避難者は、こまめに水分補給しているか。	適・不適	復旧期 p34
		○		② 避難所は、風通しを良くし、生活区域が日陰になっているか。	適・不適	
		○		③ 避難者が屋外で作業をする時は、帽子をかぶり、作業前と作業中 30 分ごとに水分と塩分を補給しているか。	適・不適	
		○	寒さ対策	① 毛布や使い捨てカイロ、湯たんぽ等を使用しているか。	適・不適	
		○		② 避難所の床や窓にマットや畳を敷き、温度管理をしているか。	適・不適	
		○		換気対策	① 1時間に1回5分間を目安に窓を開け換気をしているか。	
	○	② 冬期には石油ストーブ等の暖房機具の長時間使用を控え、換気を十分に行っているか。	適・不適			
	○	③ 冬期には適切な湿度管理をし、加湿器を用いている場合はタンク内の水を毎日入れ替えているか。	適・不適			
寝具等		○	① 定期的に布団、枕等の寝具の日光干しを行い、洗濯をしているか。	適・不適	復旧期 p37	
		○	② 避難所内は土足禁止としたり、布団を敷くスペースと通路を分けたりして寝具の汚れをできるだけ抑えるよう配慮しているか。	適・不適		
		○	③ 寝具は、使用済みの物と区別して、衛生的に保管しているか。	適・不適		
入浴設備		○	設備無	① 地域内の公衆浴場の営業状況を把握し、被災者に情報を伝えているか。	適・不適	復旧期 p39
		○	設備有	① 男女別に利用時間を設定する等、入浴ルールを設定しているか。	適・不適	
		○		② 浴槽の湯は定期的に入れ換え、消毒を行っているか。	適・不適	
		○		③ 入浴施設は当番を決めて定期的に清掃しているか。	適・不適	
理容・美容		○	① 理容・美容サービスの提供は、理容師・美容師に依頼して実施しているか。	適・不適	復旧期 p41	
		○	② 避難所で理容・美容サービスを提供する場合には、実施場所の衛生管理がされているか。	適・不適		

3. 感染症対策

初期	復旧期	項目	現況	本編ページ
○	○	① 咳等の症状がある人の早期発見に努め、症状がある方に申し出るよう周知しているか。	適・不適	初期 p16 復旧期 p43
	○	② 症状がある人に対して、救護所の受診勧奨をしているか。	適・不適	
○	○	③ 「咳エチケット」の励行や迅速な排泄物・吐物処理等、感染源の早期排除に努めるよう周知しているか。	適・不適	
○	○	④ マスク着用、手洗いの励行等一般的な感染症予防に努めるよう周知しているか。	適・不適	

4. 食中毒対策

初期	復旧期	項目	現況	本編ページ
○	○	① 飲み水には原則、飲料水(ペットボトル(清涼飲料水)や、給水車で飲用として供給される水等)を使用しているか。	適・不適	初期 p19 復旧期 p45
○	○	② 食品取扱者は、健康状態を確認して、体調不良な者が従事していないか。	適・不適	
○		③ 食品取扱者等が手洗いをするための十分な飲料水を確保できない場合には、手指を消毒用エタノールでふき取りの上、食品専用の手袋等を用意しているか。	適・不適	
	○	④ 飲料水と石けんによる手洗いをしっかり2回してから食品を取り扱っているか。	適・不適	
○		⑤ 食器等を使用する場合には、使い捨ての容器を使用しているか。	適・不適	
	○	⑥ 支援物資は、乾燥した冷暗所に、床から10cm以上の高さで、袋や箱に収納して保管しているか。	適・不適	
○	○	⑦ 支援物資を長期保管し、賞味期限切れの物を配布しないよう注意しているか。	適・不適	
	○	⑧ 加熱作業前と加熱作業後に、同じ調理器具等を用いる場合は、しっかり洗浄しているか。	適・不適	
	○	⑨ 使用後の調理機具等は、しっかり洗浄したのち、よく乾燥させ、保管棚に衛生的に保管しているか。	適・不適	
	○	⑩ 調理器具は、使用後等定期的に、消毒薬又は加熱により殺菌しているか。	適・不適	
	○	⑪ 炊き出し等の調理は、加熱してそのまま提供できるもののみとなっているか。	適・不適	
	○	⑫ 調理済み食品はすみやかに提供し、喫食されているか。	適・不適	

5. その他

支援活動年月日	活動内容
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

手を消毒しよう!!!

～水が使えない時には～

食事の前、トイレの後等には、感染症・食中毒予防のために手を清潔にしよう

①ウェットティッシュで手全体をていねいにふく



しっかりと汚れを落とす。

②消毒薬（消毒用アルコール）で手を消毒する



手・指全体にまんべんなく
広げる

感染症・食中毒予防に

手を洗おう！！

食事の前、トイレの後等には、感染症・食中毒予防のために手を清潔にしよう

①ハンドソープで手を洗う。



②泡は水でよく洗い流す。



③ペーパータオルでしっかりふき取る。



④消毒薬（消毒用アルコール）で手を消毒する。



トイレの清掃の方法

●用意するもの

手袋、マスク、ブラシ、トイレ用洗剤、消毒薬
トイレットペーパー、ゴミ袋

●方法

- ①マスクをする。手袋をはめる。
- ②消毒薬で湿らせたトイレットペーパーで、手洗いの蛇口、トイレのドアノブ、水洗レバー、便器のフタ、便座、便器外部を拭く(きれいな部位から順に作業を進める)。
- ③洗剤を使い、便器内部をブラシで擦って洗う。
- ④汚物入れのゴミをまとめる。新しいゴミ袋を設置する。
- ⑤片づけをして、手袋とマスクを取る。最後に手を洗う。

次の症状がある場合は

すぐにスタッフにお知らせください！！

1. 熱（38 度以上）がある、または熱っぽい
2. 上気道炎症状（咳、鼻汁、のどの痛み等）がある
3. インフルエンザ様症状（全身がだるい、寒気、頭痛、関節痛・筋肉痛等）がある
4. 咳があり、血がまざった痰がでる
5. からだにぶつぶつ（発疹）が出ている
6. からだにぶつぶつ（発疹）が出ていて、かゆみや痛みがある
7. 唇や口の周りにぶつぶつ（発疹）が出ていて、痛みがある
8. 首がかたい感じがしたり、痛かったりする
9. 下痢便（水のような便、柔らかい便、形のない便、噴出するような便等）が出た
10. 吐いた、または吐き気がする
11. おなかが痛く、便に血がまざっている
12. 目が赤く、目やにが出ている
13. 創傷等があり、膿がでたり、赤かったり、腫れていたり痛かったりする

【感染症評価に基づく感染症対策】

資料4に対応する疾病と避難所運営者等のとるべき対応は下記のとおりです。

- ◆ 「1、2、3の1つ以上」→「インフルエンザやその他の感染症疑い」
対応:「標準予防策」と「飛沫予防策」
- ◆ 「1、2、3の1つ以上」と小児の場合→「小児呼吸器感染症疑い」
対応:「標準予防策」、「接触予防策」及び「飛沫予防策」
- ◆ 「4」→「結核疑い」
対応: 医師に相談し病院搬送を検討
- ◆ 「1と5」→「水痘や麻疹等疑い」
対応: 医師に相談し病院搬送を検討
- ◆ 「1と5と8」→「細菌性髄膜炎等疑い」
対応:「標準予防策」と「飛沫予防策」のうえ病院搬送を検討
- ◆ 「6」→「帯状疱疹や疥癬等疑い」
対応:「標準予防策」と「接触予防策」
- ◆ 「7」→「単純ヘルペスウイルス感染症の疑い」
対応:「標準予防策」と「接触予防策」
- ◆ 「9または10」→「ノロウイルス感染症やその他消化器感染症疑い」
対応:「標準予防策」と「接触予防策」
- ◆ 「11」→「細菌性の急性下痢症疑い」
対応:「標準予防策」と「接触予防策」のうえ病院搬送を検討

◆ 「12のみ」→「ウイルス性結膜炎疑い」

対応:「標準予防策」と「接触予防策」

◆ 「13のみ」→「創傷関連感染症疑い」

対応:「標準予防策」と「接触予防策」

※「新型インフルエンザ等の院内感染制御に関する研究」研究班作成「避難所における感染対策マニュアル」より抜粋

標準予防策: すべての患者に対して適用される感染対策。汗を除くすべての体液・分泌液・排泄物、健常でない皮膚、粘膜に触れる可能性がある場合には、直接触れることのないよう、程度に応じて手袋、サージカルマスク、ガウン(エプロン)、目の防護(ゴーグル、フェイスシールド)を使用する。また、その前後で手指衛生を行う。

飛沫予防策: インフルエンザを含め飛沫感染する病原体に対して行う感染予防策。飛沫は1m程度飛散すると考えられるため、この程度の距離に近づく医療従事者はサージカルマスクを着用する。また、患者同士の距離も1m以上あけるようにする。カーテン等の障壁も有用である。

接触予防策: 腸管出血大腸菌感染症等患者と接触感染する病原体に対して行う感染予防策。直接あるいは患者の使用した物品や環境表面との間接接触によって成立する病原体に対して行う。内容は、患者の個室管理、患者教育(外出時に周りのものに触れないように指導する)、患者使用物品の洗浄、患者ケア後の手洗いが基本となっている。

※上記の「標準予防策」、「飛沫予防策」及び「接触予防策」については、資材等が限られている場合もあるため、**可能な範囲**で実施すること。

咳エチケットを心がけよう!

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれませんので、次のような咳エチケットを心がけましょう。

マスクを着用する



くしゃみや咳が出ている間はマスクを着用し、使用後のマスクは放置せず、ごみ箱に捨てましょう。
マスクを着用していても、鼻の部分に隙間があったり、あごの部分が出たりしていると、効果がありません。鼻と口の両方を確実に覆い、正しい方法で着用しましょう。

<正しいマスクの着用>



口と鼻を覆う



周囲にかからないよう顔を
そらせ、ティッシュなどで
口と鼻を覆う

すぐに捨てる



口と鼻を覆ったティッシュは、
すぐにごみ箱に捨てましょう。

周囲の人からなるべく離れる



くしゃみや咳の飛沫は、1~2
メートル飛ぶと言われています。

こまめに手洗い



くしゃみや咳などを押さえた
手から、ドアノブなど周囲の
ものにウイルスを付着させたり
しないために、インフルエン
ザに感染した人もこまめな
手洗いを心がけましょう。

※政府広報オンライン：インフルエンザの感染を防ぐポイント「手洗い」「マスク着用」「咳（せき）エチケット」より抜粋